

2011（平成23）年度予算について

青山学院財務部

青山学院の2011（平成23）年度（以下、当年度）資金・消費収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年3月24日開催の評議員会、引続き開催の理事会で承認されました。

当年度の予算編成に先だち、2010年6月1日に理事長名で「2011年度予算編成方針」を各学校（以下各部）に発信しました。具体的には、「①各部において収入拡大への努力を最大限行うこと、②支出については、すべての経費の見直しを行い、経常的経費はこれまでの予算と使用実績の差異を分析し、真に必要な適正金額を申請すること、臨時的経費についても必要性・緊急性を吟味し立案すること」を基本方針とするものです。

各部からは、法人本部より示された概算提示額に沿って策定された予算案が申請されましたが、編成の過程では、肥大化傾向にあった経常的経費について、実績との差異を確認し、政策的な予算（臨時的経費）へ充てるための修正等を行っております。

当年度予算では、建物の耐震補強工事を行うなど、安全・安心な教育環境に配慮するとともに、2012年4月から大学の人文・社会科学系学部の1・2年生の教育課程が青山キャンパスに移行することを念頭に、教育研究活動の充実に重点をおいた予算編成となっております。

実施予定の主な案件としては、

- ① 青山キャンパス再開発の取組の一環として、大学17号館新築・高等部校舎建替工事費（71.6億円）
- ② 大学2・9号館建物耐震補強工事費、PC教室新設他（9.4億円）
- ③ 情報教育基盤ネットワークシステム費用（6.6億円）、大学PC教室環境構築費用（5.2億円）
- ④ 相模原キャンパス陸上競技場新設および図書館自動書庫増設関連工事費（6.5億円）等があります。

本学では、2008年5月に「青山学院の掲げる目標（命題・課題）とその取り組み体制について」という内容で教職員全員に向けて「理事長声明」が発信され、「人間教育の再創造」「環境の整備」「戦略の強化」の三つを柱とした174項目の課題を挙げ、それら一つ一つに関して各部・各事務局において、中・長期計画を立案し、その解決を目指しております。当年度予算についても、それら課題に着実に取り組めるよう編成しているほか、このたびの東北地方太平洋沖地震の被災学生等への支援に伴う施策が新たに必要となっております。

青山キャンパス再開発を継続実施していくために、今後も多額の資金需要が見込まれておりますので、青山学院は、従来以上に厳正な予算執行に努めてまいります。

以上